

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		わくわくエジソン福島教室		公表日		2025年 5月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・マットを引いて下に振動がなるべく響かないようにしている ・教室内が学習場所と遊び場所で分かれている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83.3%	16.7%	・休みが重ならないように、調整している	・職員もドライバーも増えて欲しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・分かりやすく区切られた設備になっている。 ・おもちゃの片付け場所やゴミ分別の目印があり、エレベーターも設置されている	・仕方ないのですがエレベーターが狭くて車椅子の子供を運ぶ時に少し時間がかかる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・活動に合わせて、机を動かし調整している ・テーブルや椅子などの消毒		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83.3%	16.7%	・個室はないが仕切りでスペースを作ることができる ・場所によって区切る工夫をされてる。	・教室が狭いのでクールダウンの場所がない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・会議で支援計画の作成についての話し合いが行われている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・送迎の時なるべく親御さんと話をして情報共有をはかる ・保護者の意見で対応の幅が広がっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎週教室会議が行われている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	66.7%	33.3%	・訪問調査をもとに改善につなげている	・外部評価しているかわかりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・毎月の勉強会で研修内容を参考にしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・子どものニーズに合わせたプログラム内容が作成、公表されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・それぞれのこどものニーズや課題に合わせた支援計画が作成されている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・毎週の教室会議で議論している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・作成後は職員内で共有し、それをもとに支援が行われている ・計画支援をスタッフが1人1人目を通して行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・それぞれのこどもに応じたアセスメントが行われている ・チャットを使い、情報を共有している		
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・保護者の方に支援計画案を渡し、支援内容を決めている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・教室会議で土曜イベントのプログラム内容が話し合われている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・プログラム担当を固定せず、毎月色々な担当になるようにし、マンネリ化しないように工夫している		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			・情報を共有し対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			・子供が来所前にスタッフ同士で情報共有している ・連絡事項等は、チャットにて情報共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			・今日の送迎の雰囲気や問題があれば報告	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			・連絡ノートに親御さんがわかるようになるべく細かくしている ・業務日誌の作成	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			・家人様と日頃の様子を聞き、支援計画に繋げている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			・管理者、児発管が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			・いきいきなどの連絡帳に目を通している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			・幼稚園などの先生方と情報教えてもらったりしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			・必要に応じて会議に参加している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	66.7%	33.3%			・地域の研修が営業時間内の為、参加ににくい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33.3%	66.7%			・地域交流の機会が増やせれば良いと思う ・地域の活動が少ない為
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				・連絡帳に目を通し子供の情報を見て連絡帳にその日の子供の情報を細かく書くようにしている
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%				・家族イベントを土曜プログラムに取り入れている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				・時間帯によるが、プログラム等普段の様子を見学して説明している
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%				・会議の時に全スタッフで話し合っている
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%				・内容を確認し、署名してもらっている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	66.7%	33.3%	・電話相談したりオンラインで話し合ったりしています	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・直ぐに情報を共有し、対応策を考えている ・面談の時間が設けられている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・インスタを活用して毎週更新している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・持ち出し禁止でカギを掛けている ・鍵付き棚で保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・分かりやすい様に合理的配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	66.7%		・地域交流の場が増えればいいと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・防災グッズや避難訓練 ・スタッフ会議での講習	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・BCPも策定され、防災プログラムもよく取り入れている ・避難場所の確認をしている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・把握してチャットや会議等で共有されている ・女子には女子のスタッフが対応する	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・おやつの特参やクッキングプログラムでは分かれて行っている ・エビベン等、使い方は分かりやすい場所に掲示している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・日常プログラムで行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・防犯、防災プログラムを定期的に行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ホウレンソウは欠かさずに行っています ・共有し会議等で検討されている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・スタッフ会議等で研修の機会を設けられている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・記載されている		